

第67回 国民体育大会「ぎふ清流国体 セーリング競技」

チャイルドルーム 報告書

日時：平成24年10月4日（木） ～ 7日（日） （準備の為、3日（水）より作業）

時間：午前9時 ～ 午後5時（最終日は、午後4時まで）

場所：愛知県蒲郡市 海陽ヨットハーバー管理棟内 2階大会議室

主旨：大会期間中、乳幼児を帯同して大会に参加する選手や役員の為に、環境を整え便宜を図る事により、選手は、同じ条件でレースに参加する事が出来、役員においては、負担を軽減する事が出来る

使用目的：①乳幼児の食事及び授乳場所
②乳幼児の着替え、おむつ取替え
③乳幼児の就寝(仮眠)
④そのほか、乳幼児の休憩など

使用条件：①国体レースに参加する選手・大会役員・大会関係者・大会観覧者
②競技開催期間中
③年齢/0歳～6歳程度
④保護者同伴、もしくは保育士・サポーターが常駐する為、乳幼児のみの利用も可とする

使用手続き：①施設利用の概要を説明し、同意頂く
②使用手続き申込書に必要事項を記入（検温など健康状態もチェック）

保険：チャイルドルーム内の事故及び盗難などに対し、レディース委員会で責任賠償保険、障害保険に加入し、チャイルドルーム利用者の安全を確保する

担当者：レディース委員会委員 4名
岐阜県連 サポーター 3名
岐阜県職員 1名

利用者状況：

利用者数		日程				合計
		10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	
延べ利用者数		5	13	32	18	68
実人数		4	8	16	15	43
内訳	選手、大会関係者	3	6	13	11	33
	一般観覧者	1	2	3	4	10

- 利用者の声：
- ◎娘が選手で、孫を預かっているのでチャイルドルームは本当に助かります
 - ◎事前に情報を得ていたので、前日より見学に来ましたが、安心して預けられると思いました
 - ◎お茶を飲む暇もないかと思っていましたが、チャイルドルームで預かってもらっている間、ゆっくりアイスコーヒーが飲むことが出来ました
 - ◎夫の姿を少しだけみたいと思っていたら、ついレースに夢中になって応援していました 子供が泣いていないか心配で 急いでチャイルドルームに戻りましたが、とても楽しそうに遊んでいて本当にホッとしました。ゆっくり観戦も出来て良かったです
 - ◎おむつを替えたいだけなのですが、場所がなくて困っていましたので、こんな場所があるのは助かります ただ、手続きをしなくてはいけないのが少し面倒だと思いましたので、簡易にしてもらえたらと思います
 - ◎毎年、チャイルドルームを利用しています 本当に助かります
 - ◎大変お世話になりました 来年もお世話になりたいと思います
 - ◎他の競技には このようなシステムはないので いいなと思います

- 考察と課題：
- (打合せ) 事前の打ち合わせで、ぎふ国体準備委員会の担当者の方とのメール、電話等で連絡出来、施設のレイアウトや備品の内容等を把握出来ていたため、昨年の反省から準備物の補充も十分にできたと思う。
 - (コピー機、PC等の利用) チラシ、案内表示等は前日に準備できたが、常に必要な書類等は自由に補充させて頂けたことが良かった
 - (岐阜県職員の方との連携) 今回は岐阜県職員の方が常駐して下さったので、不明な事があっても、即座に解決出来、とても助かった
 - (サポーターの人数) 長時間の託児サポートは過重労働ではあるが、今回はサポーターの方々のチームワークの良さでカバーして頂けた。しかし交代が出来るくらいの人数の確保も必要ではないかと思った。
 - (視察員の対応) 視察者が多かった為、大会途中に受付とは別にコーナーを設けてもらった
 - (利用内容への対策) 授乳、おむつ替えのみの利用者には 申込みを簡易

にする方策を今後考える必要がある